

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス青梅教室			
○保護者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い訓練室を十分活用し、楽しく身体を動かしながら心身の発達を促すことができる柳沢運動プログラムを実施しています。	運動遊びのメニューは週ごとに担当者を決めて、日々利用する児童のレベルに合わせて作成している。また 遊びの要素を取り入れたメニューで参加意欲を促進できるような内容にしている。（例「だるまさんが転んだ」「転がしドッチボール」「バクダンゲーム」）	毎月1回こどもプラス本部で開催している運動研修（オンライン）に必ず参加している。更に本部のスーパーバイザー巡回時には運動遊びを実施する上での注意点や補助等の助言をいただいている。
2	地域最大級の活動スペースを活用し、学習スペースと自由活動スペースをパーティションで分離し、集中できる環境を整えている。	自由活動でキャッチボールやバスケットシュートなどで遊ぶ場合は人数に応じてパーティションの数やスペースを臨機応変に変えて怪我のないよう配慮している。また 運動遊びが終わった後はボール等は禁止にして静かな活動として「トランプ」や「かるた」「カードゲーム」などで過ごせるようルール化している。	毎月1回のこどもプラス本部による療育研修で学習支援のポイントや感染症予防対策など支援を継続していく上で必要な技術・知識の研鑽に努めている。
3	活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	日々全体活動のなかで、運動遊びだけではなく多種多様なプログラムを考案している。①工作の日（月1～2回） ②外遊びの日（水曜日固定 公園vグラウンド）③ピジョントレーニング（月1回）	マンネリ化を防ぐために、新しいグッズの購入や学校等で話題になっているものを取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の行事に参加する機会が少ない。	平日の外遊びでは公園に行った時、他校の子と一緒に鬼ごっこをしたり、土曜日のイベントで児童館へ行った時にも他校の子と交流することはあるが定期的に交流することはないのが現状です。	行政や地域の情報を定期的に収集し、土曜日のイベントとして取り入れられるか定例会議等で検討できるものから実施していく。
2	お子さまの発達状況に向けた相談援助は個別に実施しているが、ペアレントトレーニングは未実施である。	現在ネット等で開催している研修に参加して、そのノウハウを習得しているところです。また ペアレントトレーニングは一定の期間を要するため、実施が難しい状況にある。	まずは親子で参加できるイベントに参加していただき、お子様の様子や課題に関して共通の理解を深めていくことから始める。 今後地域で一緒に参加できる研修会等があれば検討していく。
3	土曜、祝日の利用者が伸び悩み傾向にある。	・企画が前年踏襲型でマンネリ化している。 ・季節に応じた企画がお子様やご家族のニーズに合致していないのかもしれない。 ・集客が多い企画としてはビンゴゲーム（景品有り） 川遊び&バーベキュー 料理体験（カレー 焼きそば） 外食体験	親子や兄弟で参加できる企画も検討してみる。 また プログでイベントの結果については発信しているが、事前に企画内容を紹介し、アンケートをとってみることも検討していく。